

各 位

平成18年1月27日  
近畿日本ツーリスト株式会社  
総務・広報部 担当：佐藤  
(TEL：03 - 3257 - 1661)

### 旅行取扱状況の概観（平成17年12月分）

海外旅行の取り扱いでは、団体旅行は一般団体、学生団体の取り扱いがいずれも不振で前年実績を下回った。企画旅行は、ホリデイの取り扱い低調の影響で前年実績を大きく下回り低迷から抜け出せずにいる。一方、個人旅行は年末・年始の需要を取り込み、国際航空券、その他の取り扱いが堅調で前月に続いての前年比プラス。

海外旅行合計は、団体旅行、企画旅行の取り扱い不振により前年比92.0%と8ヶ月連続での前年比マイナスとなった。

国内旅行の取り扱いでは、団体旅行は先月の好調から一転して伸び悩み、一般団体、学生団体が共に前年実績割れとなり、合計では2ヶ月ぶりの前年比マイナス。企画旅行もメイトの取り扱いが伸び悩み、前年実績を大きく下回った。個人旅行は、航空券、JR券、宿泊券などのクーポンは前年実績に届かなかったが、その他の取り扱い好調により4ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。

国内旅行合計は、団体旅行の低調、企画旅行の不振のため、前年比92.5%と前年実績に達しなかった。

外国人旅行は、取り扱い好調を継続し前年比125.9%と3ヶ月連続の2桁増で推移した。

以上の結果、12月の総取扱額は、前年比94.2%と前年実績を下回る結果に終わった。

#### 1. 海外旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体では、イベント関係は取り扱い堅調であったが、その他団体は取り扱いが減少し厳しい状況であった。学生団体は、修学旅行、研修旅行等の取り扱いが不振で、前年実績には届かなかった。方面別の取り扱いでは、台湾、香港、タイといったアジア方面およびアメリカ本土が好調であった。中国はやっと前年比プラスになった。

##### (2) 企画旅行

ホリデイは、前年比94%と前年実績に届かず3ヶ月連続の前年比マイナス。方面別取り扱いでは、台湾、グアム、アメリカ本土が目立った程度である。中国は前年の70%程度と前月と変化はない。燃油サーチャージの影響により取扱額と取扱人数の前年比の乖離が依然続いている。

#### 2. 国内旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体では、イベント・コンベンション関係の取扱いは4ヶ月連続の2桁増と好調に推移したが、その他団体は取扱件数が減少し前年実績に達しなかった。学生団体は修学旅行の取り扱いが減少したため、4ヶ月ぶりに前年実績を下回った。

##### (2) 企画旅行

メイトは取り扱いが鈍化し前年比91%と2ヶ月ぶりの前年比マイナスとなった。方面別の取り扱いでは、九州、および宿泊型商品が堅調であった。

(以上)